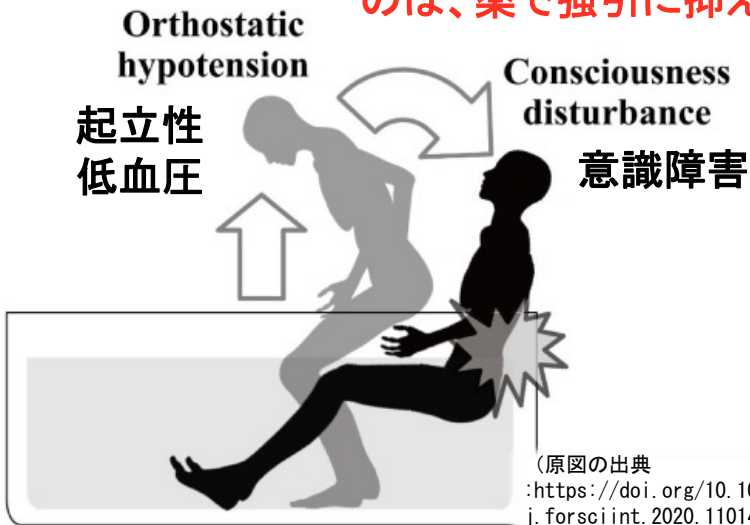


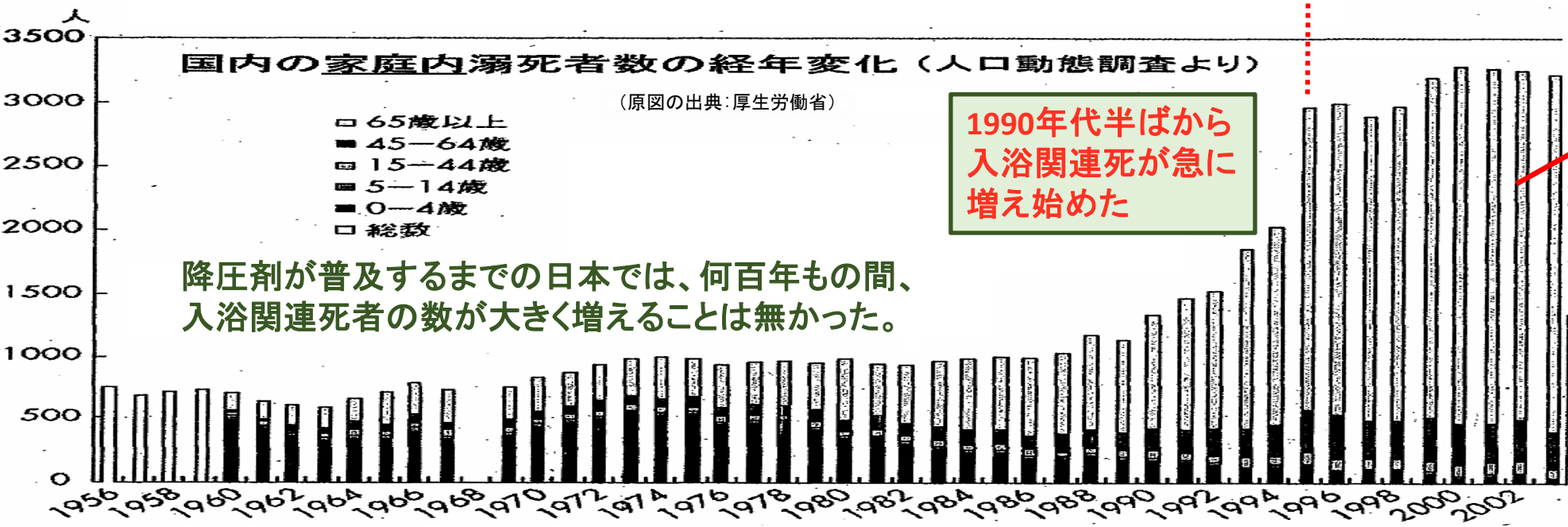
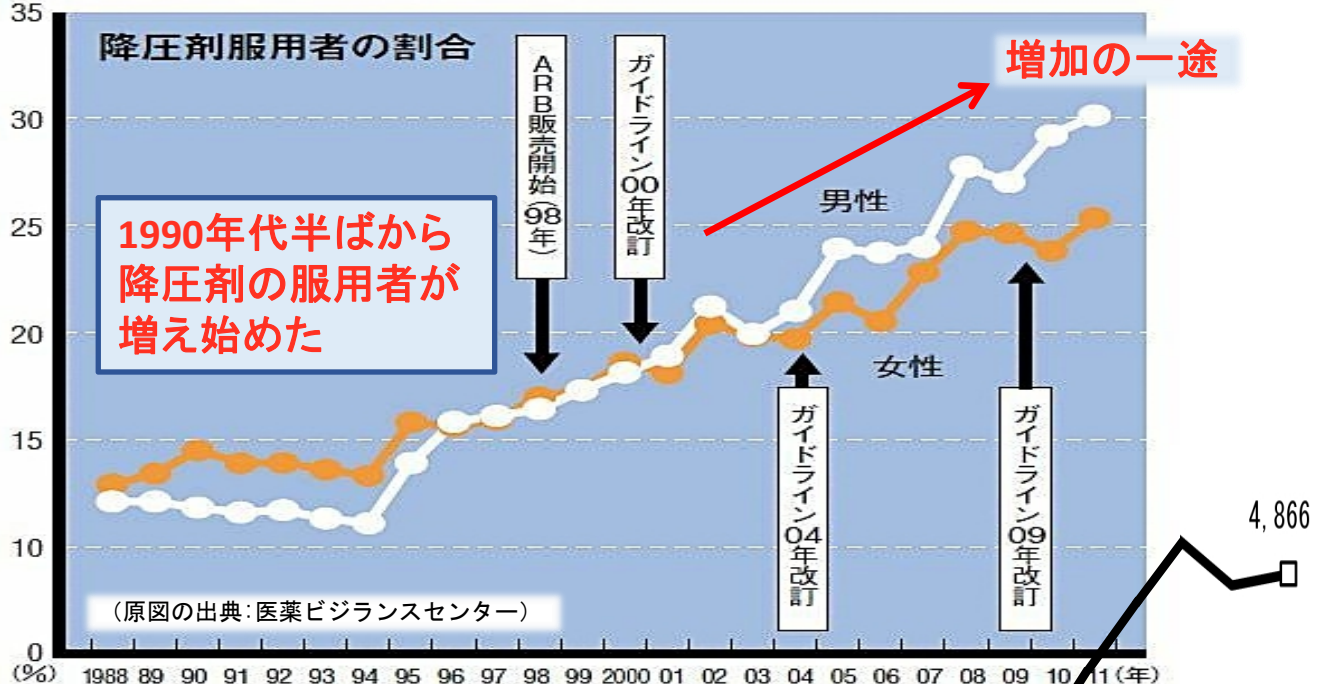
# 降圧剤の普及が入浴関連死を増やした

入浴に伴って血圧が変動するのは当たり前である。立ち上がる時に必要な血圧が得られないのは、薬で強引に抑えているからである。



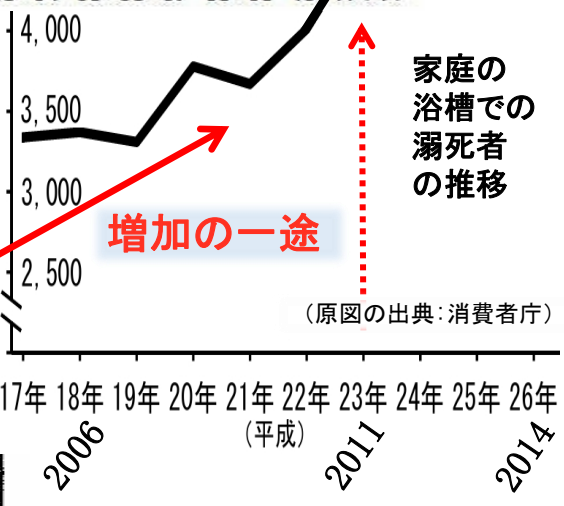
入浴関連死(家庭内溺死)の件数は、ある時期から急に増え始めた(下のグラフ)

その時期は、血圧を下げるための降圧剤を服用する人口が増え始めた時期と一致している(右上のグラフ)



降圧剤が普及するまでの日本では、何百年もの間、入浴関連死者の数が大きく増えることは無かった。

1990年代半ばから入浴関連死が急に増え始めた



降圧剤の使用が増え続けられれば、入浴関連死者数も増え続ける